

## 市民協働センターだより

### オンラインコミュニケーションの可能性

コロナ禍で、新たなコミュニケーションの手段の一つとして、オンライン活用が期待されています。インターネットを通じパソコンやスマホのカメラ・マイク機能を使って会話等を行うもので、ウェブ会議アプリ「ZOOM」などが知られています。テレビ電話のように1対1はもちろん複数人が同時に参加でき、会議のほか、セミナーに自宅から参加できたり、遠方の人も簡単につながれたりします。

今回はオンラインを取り入れた市内団体の活動事例を紹介します。市民協働センターでは、オンラインコミュニティカレッジの開催なども計画しています。



▲センターが主催したZOOM体験講座の様子

### 【西浅井まちづくりセンター】小学生の体験学習「学び座」

小学校の分散登校日に告知チラシを配布、事前に参加者を募集し、参加児童は、保護者があらかじめZOOMに接続待機。講座は土井健守所長が講師となり、アイスクリーム作りを通じた化学実験や、新聞紙を使った工作を指導、各10人程度が参加しました。画面越しに対面した児童は「元気？」など再会を喜びあい講座を楽しみました。同センターでは、今後も状況次第でオンラインでの開催を検討しています。

### 【にじっこ】不登校の児童・生徒を対象とした交流の場

不登校の子どもたちと家族の「居場所づくり」に取り組む林ともこさんが、これまでの参加者を対象にZOOMでの交流の場を提供。小学生・中高生の部と分け、4～5月にかけて週2回の頻度で開催しました。小学生は毎回7～8人程度が参加し連想ゲームなどの遊びを、中高生は近況報告などを主とし、さらにオンライン保護者会も行い家庭内の状況を確認しました。

マイクやビデオをオフにして参加できるオンライン交流の機能は「『顔を合わせるのがしんどい』という子には都合が良い」と林さん。6月以降は通常に戻すものの、こうしたケースに応じて断続的に続けていく予定です。また、学校再開に伴っての不登校や行きしぶり相談も受け付けています。詳しくは林さん(☎090-4769-0521)

### 【kasikāsi(ながはま多胎ファミリーの会)】交流手段の模索

子育て支援センターで行っていた多胎児家族の交流会を、4～5月はZOOM上で3回開催。外出自粛中でもホッとできるおしゃべりの場をと、会員に参加を呼びかけました。自宅でも参加できるのがオンラインの利点ながら「家にいるとかわって子どもたちや家事が気になるためか、参加者が増えなかった」と、代表の川部瑞恵さん。

そこで普段連絡ツールとして用いている「LINE」を活用。アンケート機能を使い育児の悩みや相談を挙げてもらい、LINEグループメッセージ上で皆がアドバイスを返信する手法に切り替えました。これだと都合のいい時間に返信できる使い勝手の良さがあります。今後オンラインは、テーマ別の情報交換の場として活用を模索しているところです。

## こんな活動してます！

### 長浜文化芸術ユース会議 はまかる next

演劇や映像、美術、音楽、文芸。文化芸術というと、難解なものという印象があって取っつきにくかったり、鑑賞しようと思うと都会に出向くものと思われたりしがちです。長浜に暮らしていても身近な存在として関心を高めてもらえる基盤を築こうと、市の呼びかけで平成27年に結成。

現在、文化や芸術の分野で個々に活動する高校生以上40歳以下の正規メンバーに加え、40歳以上のサポーター、芸術に興味をもつ中学生など15人で構成。ジャンルを超えた交流や技術の学び合い、小学校への出張公演、イベント主催などに取り組んでいます。

昨年からはメインイベントとしてオリジナルの音楽劇を公演し、800人が鑑賞。今年は6月に予定していた新作公演が延期になり、緊急事態宣言中はオンラインを活用し台詞稽古などに励み、ようやく対面稽古を再開しました。新作音楽劇「とりあえずあんみつ」は来年1月に開催されます。ご期待ください。



▲昨年8月公演のシェイクスピア劇「夏の夜の夢」の舞台にて。入会、見学なども歓迎。

☎ nagahamaculture@gmail.com



◇ながはま市民協働センター

☎65-6525 Mail: katsudou@city.nagahama.lg.jp 休所日 火曜日

◇北部サテライトセンター きのもと交遊館

〒526-0425 長浜市木之本町1118 開所日 水・日曜日